

2006 年度

科目名 読書と豊かな人間性	対象学科・学年 文学部日文3回生 教育教福3回生 文学部英語3回生 文学部教福3回生 文学部文財3回生 文学部コミ3回生	担当者 中道 厚子
授業テーマ 児童・生徒の発達段階に応じた読書教育の理念と方法を学ぶ		
授業の概要と目標 読書のもつ意義と目的を理解し、読書の楽しさを児童・生徒に体験させるにはどうしたらよいかを具体的に考え、実際に様々な手法を活用できるようにする。		
評価方法 出席と課題や発表への取り組み状況をもとに評価する。		
テキスト なし（必要に応じて資料を配布）	著者	出版社
参考書 新学校図書館通論	著者 図書館教育研究会	出版社 学芸図書株式会社
授業スケジュール・内容 1 読書の意義と目的① ―「なぜ本を読まないといけないの？」― 2 読書の意義と目的② ―学校図書館の役割― 3 発達段階に応じた読書指導と計画 ―何歳頃にどんな読書を？― 4 児童・生徒向け図書の種類と活用 ―どんな本をどんなふう to ? 5 児童生徒と図書資料を結びつける工夫① ―ブックカードの作成― 6 児童生徒と図書資料を結びつける工夫② ―相互評価― 7 読書と心の教育① ―学校だからできること― 8 読書と心の教育② ―学校図書館だからできること― 9 家庭・地域・公共図書館等との連携① ―学校の限界をどう乗り越えるか― 10 家庭・地域・公共図書館等との連携② ―司書教諭が生み出す可能性― 11 読書指導の方法① 12 読書指導の方法② どのようにしたら、児童生徒の読書を推進できるか 13 読書指導の方法③ 効果的な読書推進のプランを考え、発表する。 14 読書指導の方法④ 15 まとめ		